

2026年度 学校推薦型選抜（公募制）合格者の皆さん

日本女子大学文学部日本語日本文学科

合格おめでとうございます。

教員一同、皆さんの入学を心待ちにしています。

日本語日本文学科から、入学までの間に、下記の課題を出します。

どうぞ頑張って取り組んでください。

【課題1】

以下のドリルの全問題に解答し、ご自分で採点して、それを提出してください。

佐藤喜一著『基礎からのジャンプアップノート 漢字 2500 書き取り・読み取りドリル（三訂版）』
（旺文社、880 円、ISBN コード：9784010354094）

パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでの文字入力ごく当たり前になっている今、
どうして漢字の書き取り・読み取りをする必要があるのか、と疑問に思う方もいらっしゃるでしょう。

確かに、漢字を手書きする機会は減ったかもしれませんが、予測変換機能のおかげで日常的に漢字
に触れる機会はむしろ増えており、その結果、同音異義語を正しく使い分けられる、相手や内容に
応じてその場に最適な文字を選ぶことができる、といったスキルが今まで以上に求められるよう
になりました。教職や出版・編集をはじめ、正確に文字を読み書きできる技術が必要とされる職業も
少なくありません。

これから日本語日本文学科で学ばれる皆さんには、今のうちにそのような基礎力を身につけてい
ただきたいと思い、この課題を選びました。是非、頑張って取り組んでみてください。

* このドリルはご自身で購入なさってください。

* 解答を自己採点した別冊・解答書き込み用ノート（ドリルの巻末に綴じ込まれています）の
裏表紙に氏名を忘れず記入して、提出してください。

【課題2】

以下の 14 冊の中から、どれか 1 冊を選び、それを読んで、そこにどのようなことが書いてあったか、
どのようなことが学べたかを、2000 字（原稿用紙 5 枚）程度で書きなさい。

* 対象書籍は、各自で購入するか、図書館で借り出してください。

* 感想は不要です。

* 書籍からの引用は最小限にとどめましょう。また、インターネット上に記載された内容の引き
写し等も避けて、自分の言葉で書いてください。

* A1～C4 については B4 判原稿用紙使用、縦書き、手書きを原則とします。

（A4 判、横書き、Microsoft Word を用い、印字したものも可。ただし、D3～D4 については A4 判、
横書き、Microsoft Word による印字打ち出しとする。）

- A1 小西甚一『古文の読解』（ちくま学芸文庫）筑摩書房、1,760 円
- A2 藤原克己監修・今井上編『はじめて読む源氏物語』花鳥社、1,980 円
- A3 小川剛生『徒然草をよみなおす』（ちくまプリマー新書）筑摩書房、880 円
- A4 福田安典『医学書のなかの「文学」江戸の医学と文学が作り上げた世界』笠間書院、2,420 円
- B1 加藤周一『日本文学史序説（下）』（ちくま学芸文庫）筑摩書房、1,650 円
- B2 安藤宏『日本近代小説史（新装版）』（中公選書）中央公論新社、1,980 円
- C1 二畳庵主人・加地伸行『漢文法基礎 本当にわかる漢文入門』（講談社学術文庫）講談社、2,640 円
- C2 吉川幸次郎『中国文学入門』（講談社学術文庫）講談社、924 円
- C3 金谷治『中国思想を考える』（中公新書）中央公論新社、814 円
- C4 周作人著・木山英雄訳『日本談義集』（東洋文庫 701）平凡社、3,300 円
- D1 小野正弘『オノマトペ 擬音語・擬態語の世界』（角川ソフィア文庫）KADOKAWA、968 円
- D2 川添愛『ヒトの言葉 機械の言葉 「人工知能と話す」以前の言語学』（角川新書）KADOKAWA、990 円
- D3 荒川洋平『日本語という外国語』（講談社現代新書）講談社、1,100 円
- D4 佐藤翔『図書館を学問する—なぜ図書館の本棚はいっぱいにならないのか』青弓社、2,640 円

【提出先（郵送）】

〒112-8681

東京都文京区目白台 2-8-1

日本女子大学文学部日本語日本文学科

*** 課題 1・2 をあわせて送付してください。**

*** 送付には、必ず青色のレターパック（レターパックライト）を使用してください。**

*** レターパックの品名欄には「公募制 入学前課題在中」とお書きください**

【提出期限】

2026年2月28日（土）

提出されたレポートは、4 月中にコメントを付けて返却します。

* 本課題に質問等がある場合には、以下のアドレスに、メールで問い合わせてください。

f_nichibun@fc.jwu.ac.jp（日本語日本文学科のアドレス）

* 送信の際には、[件名] として、「公募制入学予定者より」と示し、本文にフルネームを明記してください。



日本語日本文学科公式マスコット・にちぶんちょう「さくら」